



疾病予報 予測ができれば早めの回避！

疾病予報という言葉を耳にされたことはありますか？この言葉は、美祢市と山口県立大学が連携して令和3年度から実施している「みね健幸百寿プロジェクト」の中で使われているキーワードです。

このプロジェクトでは、美祢市民の健診結果とアンケートをデータベース化し、それを分析することにより個々人の将来病気になる予測値が明らかにされています。

健診結果で現在の健康状態を知るだけでなく、自分の将来の疾病予測が見えることにより、健診が行動変容の好機となるのではないでしょうか。

今号では、美祢市のプロジェクト実施者でいらっしゃる美祢市病院事業局特別顧問の前川剛志先生にプロジェクトの展開と健診結果の活かし方について解説をいただきます。

共済組合は健診受診後も皆さんの健康維持・増進を支援します

■ いざれかの健診を受けてください

健診の種類	対象者	共済組合の支援	根拠法
①定期健康診断	組合員	事業主に費用の一部を補助	労働安全衛生法
②人間ドック	組合員(30歳以上) 被扶養配偶者(30歳以上)	25,000円を補助 15,000円を補助	地方公務員等共済組合法
③特定健康診査	組合員(40歳～74歳) ※定期健康診断対象外の方 被扶養者(40歳～74歳)	全額補助	高齢者の医療の確保に関する法律

40歳以上74歳未満の方は、①②の受診で**特定健康診査**に代えています

■ 特定健康診査の結果をもとに生活習慣病のリスクに着目した特定保健指導(無料)をご案内しています 検査項目と特に着目する数値

- 身体測定(身長・体重・**腹囲**・**BMI**) **血圧**(収縮期血圧・拡張期血圧)
- 血液(**中性脂肪**・**HDLコレステロール**・**LDLコレステロール**・**GOT**・**GPT**・**γ-GTP**・**空腹時血糖**・**HbA1c**)
- 尿(糖・蛋白) 質問票(服薬歴・**喫煙歴**等)

健幸百寿はあなたの次第!!

みね健幸百寿プロジェクトから展開する健康志向の醸成

はじめに

みね健幸百寿プロジェクトは「市民が主体的に健康寿命の延伸に取り組む地域の実現」に向け、令和3年度に開始され、本年度で5年目になります。

現在、美祢市、美祢市立病院/美東病院、山口県立大学、山口大学が参画して次の5項目で進められています。

①学童に対するがん教育、②【疾病発症危険度通知システム 美祢市版】の開発とその実装、③特定健診率の向上、④【要介護化・死亡リスク要因の検証】、⑤デジタルデータを扱える人材の育成です。ここでは主に②について詳しく述べます。



美祢市病院事業局 特別顧問
(山口大学名誉教授)
医師 前川 剛志 先生
(主な職歴)
平成23年4月 山口県立総合医療センター 院長
平成30年4月 公立大学法人 山口県立大学 理事長
令和5年4月から現職
(主な受賞歴)
令和7年4月 瑞宝中綬章

◆ 疾病発症危険度通知システム <美祢市版>

疾病発症危険度通知システム(Health Risk Appraisal:HRA)美祢市版は新しい情報技術を活用した生活習慣病等の予報システムであり、完成間近です。美祢市民一人ひとりが自己の生活習慣に関するアンケート(ライフスタイル質問票)に答え、生活習慣病(高血圧症、高脂血症、糖尿病)、心筋梗塞、脳卒中、癌などになる予測値をその個人

に返すシステムです。自己のアンケートを基に疾病罹患の予測値がその個人に返されますので、健康管理が自分ごととなり、健康志向の醸成に繋がって健康になるとというシナリオです。このデータを使えば、ハイリスクの市民に保健師による保健指導も可能になり、実効性のある指導となります。

